

Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA



Address : Yoshio Iida 1-2-2 Moriminami-cho Higashinada-ku, Kobe 658-0011, JAPAN  
 Mail : hfyoshio1945@hotmail.co.jp Phone : 078-452-3973  
 URL : http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/

## 主 題

国際協会会長 Kevin Cummings 「一つとなる力」  
 「The Power of One」  
 アジア地域会長 Chon Byung-Koo 「夢見るアジア、愛するアジア」  
 「Dreaming Asia, Loving Asia」  
 西日本区理事 鈴木誠也 「すべてのいのちを大切に！」  
 「Love & Care for All the Living Things」  
 —いのち・平和・環境—  
 —Life, Peace, Environment—  
 六甲部部長 大田厚三郎 「希望の灯(ともしび)となろう」  
 「Be the Light of Hope」  
 芦屋クラブ会長 飯田義雄 「愚直に歩もう」  
 「Let's Advance Day by Day」

会 長 飯田義雄  
 直線会長 柏原佳子  
 副 会 長 井上雅司 島田 恒  
 書 記 堀江哲次 都筑省三  
 会 計 羽太英樹 堤 清  
 監 事 都筑省三 田舎庸男  
 連絡主事 橋本 潤  
 六甲部EMC事業主査 福原吉孝

12

Dec. 2009  
 第151号

## EMCのこと

島田 恒



EMCって知っていますか。

Extension Membership Conservationの略で、会員増強と新クラブ設立、要するにワイズの仲間を拡げることです。どんな組織でも、維持していくにはヒト・モノ・カネが要ります。ワイズは、無形のミッションを実現しようとしていますので、とりわけヒトが

大切です。不況や競合する NPO や、いろんな原因が指摘されますが、それでもヒトがいのちなのです。

ワイズの働きはボランティア精神そのものです。経済が優先される社会のなかで、ボランティアというものは損得勘定では考えづらい存在です。その証拠に、どんなに名の知れた会社でも、ボランティアなんて一人もいません。

でも私たちワイズメンは知っています。損得勘定を超えたよろこびがあることを。そんなよろこびが存在することを病んだ社会に伝えることがNPOの価値であり、ワイズもそのことに関わっています。そのワイズのミッションを共有し、協働する仲間を拡大することは、われわれの現在と将来を決定づける大切なことです。個人的には、年間3人の入会者紹介でメダルをいただきました。今年も何人かにお誘いの声を掛けるのですが、今のところ空振り続きです。残された後半、空振りにめげずガンバロー。皆さまもEMC協力をよろしく。

“人は力です。みんなの力で2000を目指してゆきましょう”

廣井武司 EMC事業主任(京都プリンスクラブ)

## 12月クリスマス祝会プログラム

と き: 2009年12月23日(水・祝) 18:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋 3階

司 会: 福原吉孝 (敬称略)  
 開会点鐘 飯田会長  
 クラブソング斉唱 一同

### 第1部 礼拝の部

讃美歌「もろびとこぞりて」 女性一同  
 聖句朗読 羽太英樹  
 奨励 聖マルコ教会 山本眞牧師  
 讃美歌「あれ野のはてに」 一同

### 第2部 ミュージックアワー

懐かし曲の演奏と歌 杉田淳二

### 第3部 会食・歓談の部

食前感謝 西日本区理事 鈴木誠也  
 乾杯 神戸YMCA総主事 水野雄二  
 会食・歓談  
 ゲスト・クラブ紹介、アピールタイム

### 第4部 パラダイスアワー

ダンスタイム  
 フォークソングの演奏と歌 岡山泰典  
 アトラクション  
 YMCAへの献金 飯田会長  
 YMCAの歌 一同  
 「きよしこの夜」 手をつないで 一同  
 閉会挨拶 井上副会長

## 11月例会出席表

11月例会出席表		
第1例会出席者	例会出席率	BF切手 (累計)
メンバー 13名	出席者 13名	44gm (710gm)
ビジター 2名	メイキャップ 2名	吉岡・町永
ゲスト 2名	合計 16名	(敬称略)
メネット 名	在籍者 18名	ニコニコ (累計)
合計 17名	出席率 88・89%	9,300円 (52,735円)

## 11月第1例会報告

日時：2009年11月18日(水)  
場所：ホテル竹園芦屋 3階  
司会：上野恭男 (敬称略)  
出席者：飯田、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、  
都筑、堤、羽太、堀江、渡辺、橋本連絡主事  
ゲスト：スピーカー三宅直基(かめのすけ代表)、水谷恭子  
ビジター：小野勅紘(西宮クラブ)、山本常雄(西宮クラブ)

プロジェクトの用意が遅れて、珍しく5分遅れの例会開始となりました。飯田会長の開会点鐘のあと、羽太メンの聖句は詩篇から選ばれたもので、解説も楽しいものでした。食前感謝の祈りは堀江メン、オバマ大統領の抹茶ソフトクリームの話も交えたユーモアと世界の飢餓に対するずしりと心に響くものでした。続いて都筑ワイズの3分間スピーチは「ガンジーの7つの解体」から引用されたメッセージです。

会食を楽しんで、いよいよ「かめのすけ」代表、三宅直基さんのお話です。任意団体「あおば介助者の会」で障害のある人の介護ではなく介助にこだわりを持つNPO団体として、1997年から活動を開始し、2001年にはNPO法人格を取得、2010年に居宅介護支援事業所としての活動を行ってきた話は重いものでしたが、三宅さんの明るい性格のせいでしょうか、楽しくパワーポイントの画面に見入りました。大学生を中心にマンツーマンの交わりの中で、障害を持つ本人が本当にしてほしいものを経験、実践させてあげてを大事にして行動している。そして、最も大事なことは閉じ込めて管理するのではなく、健常者と同様に社会と交わってもらうことを実践しているのだということです。知的障害のある人と共に行動するということは、大変手間もかかり忍耐強くサポートしなければなりません。「かめのすけ」のスタッフ10人に感謝の気持ちが湧いてきました。芦屋の仲間である大澤みどり作業所代表のご苦勞も、改めて考えました。「あおば介助者の会」のマークは亀、介助を組み合わせ、「かめのすけ」になったいきさつを聞きながらお話が終わりました。議事・報告は、10月第2例会議事録の承認などがあり、会は定刻通り進行しましたが、苦言をあえて言うと、準備の段階での報告、連絡(人数確認と準備品確認)が行き届いていなかったように感じました。これからは心したいものです。いつもまして温かで豊かなメッセージにあふれ、盛り沢山の11月例会でした。感謝  
その後の恒例のロビータイムでの歓談では、三宅代表の父上(関学出身)の話で盛り上がりました。 上野恭男



## 多くの人に支えられて

～叙勲に思うこと～ 町永昭五



90歳を越えてなお元気な大先輩の先生から、11月3日文化の日早朝お電話がありました。「町永君、瑞宝中綬賞受賞おめでとう…。長生きした証だよ」。いつものいづか皮肉めいた先生の声でした。早世した何人かの優秀な先輩・同僚を思い出しました。

数日前に予告はあったもののまだ新聞発表を見る前のこと、新聞で確認しパソコンを立ち上げると、真っ先に目に飛び込んできたのは、関西学院の同窓(商学部の後輩)芦屋ワイズ羽太さんのメールでした。ブルーの画面に鮮明な「Mastery for Service」、関西学院の同窓生として誇りに思います」と。叙勲は、半世紀近い関西学院での教育・研究上の業績が評価されてのもの、定年退職して10年余、ボケも含めて自分がいったい何者だったのかを次第に忘れかけていたこの時期の受賞、改めて半生を想起し、自己を確認する貴重な機会を与えられたように感じました。最後のご褒美をいただいたように思いました。

あたかも神戸では恒例チャリティーランの朝、2年前までは、ほとんど毎年、応援に駆けつけていました。飯田会長の芦屋MLを通じての早々の受賞のアナウンスメント、「美しく頬も引き締まるような凜とした秋晴れの朝」という例によって名文句で始まる柏原さん、チャーター時からの仲間、上野さんと懐かしい祝意のメールが相次ぎました。晩年の短い期間のお付き合いでしたが、ワイズの皆さんの変らぬ友情に感謝でした。電報に電話、なかでも嬉しかったのは数多くのゼミナールの教え子たちからの声、彼らの社会での活躍があったればこそこの受賞、元教師冥利に尽きる思いをまた新たにしました。

9日、半蔵門の国立劇場で文部科学大臣から勲記・勲章の伝達を受け、ついで修学旅行並みにバスを連ねて坂下門から紅葉色づく皇居に参内、天皇陛下のお言葉と拝謁、久しぶりの正装に疲れ果てました。もともと、これまで久しぶりに和服を着て皇居への参内を喜ぶ家内をみて、彼女のお友達からの祝意に必ず付言されていた「内助の功」へのささやかなお返しだったかなと思っています。15日、二人の息子たち一家が地元の料亭で、伝達式当日に75歳になった家内の誕生祝を兼ねて賑やかに祝ってくれました。爺さんの叙勲を小さい孫たちはわかってくれたでしょうか。できれば、いましばらく生きて、祝っていただいた方たちに感謝し、この喜びをかみ締めていたいと思っています。



### 西日本区理事事務局便り

今回の役員会は、鈴木理事のホームグラウンドである、神戸で開催されました。9月の六甲部会の会場ともなったグリーンヒルホテル神戸です。会議室が、やや長細かったものの、背景の中庭を窓越しに眺めながらの、落ち着いた雰囲気の中で開催されました。協議はとても熱いものでした。夕食後の懇親会は、只野Yサ・ユース事業主任と大野事務局スタッフの伴奏による、参加者の懐メロ生オケ、最後は「サライ」の大合唱で盛り上がりました。二日目、会議後のエクスカージョンには22名が参加、神戸ポートアイランド内の「花鳥園」で食事を楽しみ、花々や鳥たちに癒されました。(理事通信12月より抜粋)



その後、西日本区大会広島実行委員会の打ち合わせを持ちました

## DBC便りー熊本みなみワイズメンズクラブ

熊本もようやく秋が深まり紅葉の綺麗な季節となってまいりましたが、そんな折11月7日・8日に YMCA 阿蘇キャンプ場にて在熊4クラブ(阿蘇・ひがし・し・みなみ)合同の例会と新人研修会が開催されました。中でも阿蘇キャンプ場名物「牛の丸焼き」は40名の参加者の胃袋をとっても満足してくれて、久々に旨い牛肉をたらふく食べて幸せな気分で秋の阿蘇キャンプ場合同例会を満喫してまいりました。

また、秋の風物詩としてみなみクラブで毎年開催していますジャガイモ料理ショウが第3回を向かえ10月27日開催されました。ワイズメンズクラブのファンド商品であるジャガイモを使った料理を楽しむとともに、ファンド活動の意義を再確認し学習する機会にもなりました。

エントリーは内村会長、魚山ディフェンディングチャンピオン、堀ワイズ、高野ワイズ、銭神ワイズ、ビジターで坂本みどりさん、杉野ワイズの7人です。今年は何とか魚山ワイズの連覇を阻みたかったのですが、あっさりと寄り切られてしまい魚山ワイズの「ジャガイモスイーツ」が優勝となりました。しかし2位堀ワイズや3位銭神ワイズも健闘しましたし、みんなで本当に楽しくジャガイモ料理を堪能することができました。

話は変わりまして、来月はみなみクラブにとってメチャメチャうれしいニュースがあります。我みなみクラブの大村メンと魚山メンが12月6日に私たちがいいつも例会を行っているホテル日航熊本で結婚することになりました。メンとメンが結婚してしまうわけですので、メネットのいない既婚のメンが二人になるのか、どちらかがメネットになるのか、と一っつも楽しみです。当然みなみクラブからも披露宴には大勢参加しますので、天と地がひっくり返るくらい大騒ぎして祝福したいと思います。



熊本みなみクラブ会長 内村忠生

## DBC交流ーもりおかワイズメンズクラブ

長岡雅彦会長・皆様へ

アドベントに入り当地も朝夕めっきり寒くなってまいりました。盛岡は初雪が降りましたか?この度は一足早いクリスマスプレゼント有難うございました。第二例会で早々に参加者に配らせていただきました。真夏の夜を彩るさんさ踊りの笛、太鼓は知っていましたがこれほどまでリングが美味しいとは・・・(失礼いたしました)清水と澄んだ空、昼夜の温度差の大きい北上山系の風土を考えれば当然のことかと思えます。それにワイズの皆様方の思いと誠意が加わり一層糖度も増し加わったかと思えます。新渡戸稲造、宮沢賢治、石川啄木があいしたゆかりの地からの贈り物は私達にとって忘れることの出来ない思い出となりました。今年も残り少なくなりましたが皆様が健康で新しい年を迎えられることを祈念いたします。又新年も良きパートナーとして御指導下さい。そして横浜大会での再会を楽しみにいたしております。本当に有難うございました。

芦屋クラブ会長 飯田義雄

## チャリティ・ワインの会

神戸YMCAチャリティ・ワインの会が11月13日神戸ポートピア・ホテルで開催された。ホテルの華やかな雰囲気なかで、理事長等の挨拶に続き、フルコースが用意され、シャンパンによる乾杯から宴は始まった。料理毎に適切な白・赤ワインが、正装したソムリエの講釈付きで供された(チガイはよくわからなかったが、全部おいしかった)。

思いがけない方に出会ったり、神戸YMCAのチャリティに少しでも貢献できているという満足感のうちに一夜が過ぎていった。芦屋からは、珍しく私とメネットのみの参加で、チョッとだけ当クラブの面目に貢献できたかも・・・(普段貢献が少ないからナ～)。寄付によるオークションもあり、わが家も三田玄米やなにやら、重い荷物を抱えて帰ることもなった。今後ともこの催しも継続されると思うので、楽しみあるイベントとしてメンバー諸氏の参加をお薦めしたい。

島田 恒

## 2009年スケッチ紀行 (II)

吉岡浩一

5年目にして初めての極め付けは雨や霧です。過去4回いずれも傘要らずでしたが今回は雨に3～4日も降られて十分描きたい場所で描けなかったり、深い霧のため素晴らしい景色が全く見れなかったりしたのは残念でした。冗談で天候の悪さを唯一人の初参加の方のせいにしたものですが心無いことをしたとちょっぴり悔やまれます。

さて行程からお察しの通りシャンパン、白ワインは毎夜美味しく頂き大満足でした。ホテルで供せられる朝夕の食事は若干地方色があつたにせよ一応型にはまったホテル食で、総じて美味で無難なものでした。昼食は各人の自由に委ねられており、地方色豊かで土地の人が普段食べるクレープ、マカロン、タルトフランベ、キッシュロレーヌ等片端から試しましたが、いずれも現地での味わいは格別でした。

今更?と、言われそうですが、ヨーロッパに来て感じる“陸続き”の感覚が年々深まる気がします。EU諸国間ではパスポート検閲の面倒も無く本当に便利になりました。便利といえば、共通通貨ユーロの威力は大きく、これによってビジネスは勿論、観光客の移動も非常に楽で、今回も我々の行く先々でヨーロッパの近隣諸国からの観光客を多数目に致しました。

フランスとドイツと云えば歴史的には紛争の絶えなかった犬猿の仲でしたが、今やEUの中核国として互いに非常に友好的にみえます。米国を超える経済規模を持つEU共通市場の存在

感はずばりの中、新たな基本条約[リスボン条約]がこの12月1日発効し、当スケッチ紀行の後半部分が掲載される12月号ブリテンが発行される頃にはEU加盟27カ国を率いるEU大統領が選出されていることでしょう。日本はEUを過小評価しては大変な事になるという空恐ろしさを感じたのは私だけでしたでしょうか?

肝心の絵についてですが、雨の多い中、持参のF4号のスケッチブック(昨年迄はF3号)は一冊描き上げ、自分なりの充実感を得ております。来年も参加が許されれば、F6号のスケッチブックを二冊持って行きたいと考えています。



スケッチ中の筆者

